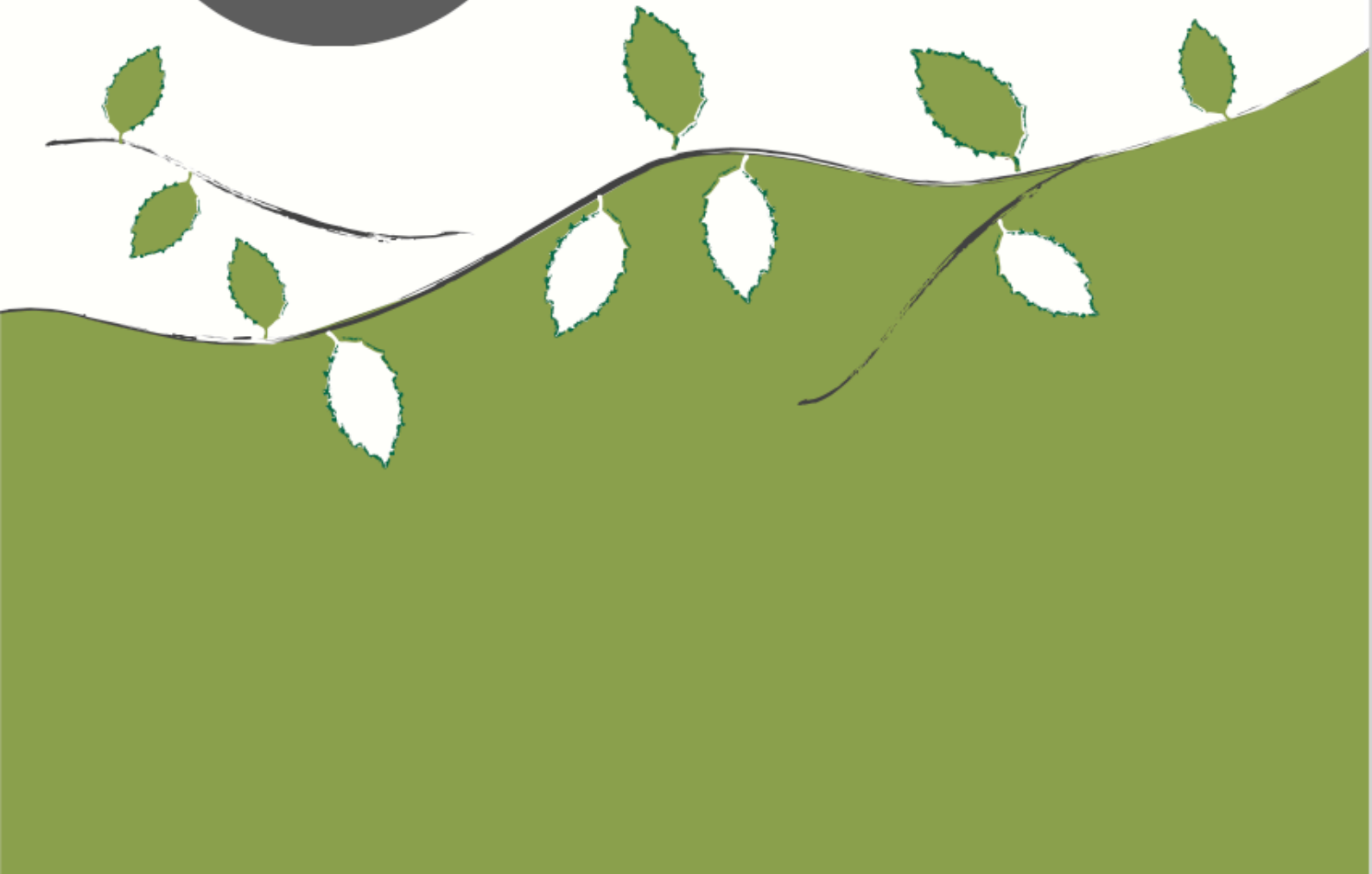




the
lullaby
trust



赤ちゃんが予期せず、突然に
なくなったときに

はじめに

あなたの赤ちゃんが、思いもかけず突然に亡くなったことを知り、大変悲しく思います。この悲劇にご家族はどれだけショックを受け、辛い思いをされていることでしょう。ララバイトラストは、この小冊子が、あなたがこれから経験する実際的なことや、悲しみと喪失の複雑な考えを、説明する助けになることを願っています。

この過程で、子どもを亡くし、その経験をシェアしてきた親たちと出会うかもしれません。

どの赤ちゃんも、決して我が子のようにではなく、また誰1人として、まったく同じ喪失というのではありません。それでもあなたに、そして誰かを失うという孤独な経験に対して、少し助けになるかもしれません。

この本をすぐに読んでもいいですし、見出しをちらっと見ただけで、後にとっておこうとするかもしれません。読むときには、ゆっくり時間をかけてください。

この小冊子を他の人とシェアすることも、あなたがどのような気持ちでいるのかを理解してもらうのに、助けになるかもしれません。

お子さんが亡くなったことで辛い思いをなさっているすべての方に、心からお悔やみ申し上げます。

もし余分にこの小冊子が必要なときには、どうぞ私たちに連絡をください。

ヘルプライン：0808-802-6868 月～金 10時～17時

土日 18時～22時

赤ちゃんが思いもよらず突然に亡くなるとき

赤ちゃんや幼児が、思いもかけず突然亡くなることについて、当初その原因が説明できないとき「乳幼児の突然死」という表現がなされます。通常の医学用語は「突然・不慮の乳幼児死亡」(SUDI) です。(*乳幼児突然死)乳幼児が突然、思いもかけず亡くなったとき、検死・剖検によって、原因が分かることもあります。例えば、予見されなかった感染症や代謝異常などです。検死・剖検によっても原因が分からなかった死亡は、通常「乳幼児突然死症候群」(SIDS)と登録されます。時には、SUDIや「不詳」など、別の用語が使われることもあります。

「ゆりかご死」という言葉は、乳幼児の思いがけない突然の死を表現するのに、過去によく使われていました。この表現では、赤ちゃんがゆりかごで眠っているときだけに乳幼児突然死が起きる、という誤解を与えるため、今では、ほとんど使われていません。

不慮の突然死の直後に起きること

赤ちゃんが亡くなった直後の時間が、どれだけ深い苦悩に満ちたものであるか、私たちは理解しています。これらの覚書が、いくつかの手続きについての説明の助けになることを願っています。いくつかの大切な決定を要することがあるからです。もし、私たちが何か助けになることあがれば、いつでもララバイ（子守歌）トラスト・ヘルプラインに電話してください。

ヘルプライン：0808 802 6868

月曜～金曜 午前10時～午後5時

土曜&日曜 午後6時～午後10時

あなたの赤ちゃんが病院に連れて行かれると、医師か他の医療者が、正式に赤ちゃんの死亡確認をしなければなりません。死亡の原因が分からないときは、彼らは検死官（またはスコットランド検察官）に知らせなければなりません。

少量の血液や組織のサンプルが、病院スタッフによって採取されるかもしれません。また、髪の一房や、手・足形など、赤ちゃんの思い出の品を採取することを、彼らは申し出るでしょう。もしそのような申し出がない場合は、あなたの方から頼んでかまいません。

家族全員の写真撮影を手配することもできますし、その写真は特に、兄弟のお子さん達が成長するにつれて価値のあるものになるでしょう。または、これから家族のもとに生まれてくるであろう子どもさんにとっても同様です。

赤ちゃんなしでの帰宅は、ご両親にとって、この上なく難しく感じるでしょうから、病院での時間を十分にとり、愛する人や友人と一緒に帰るようしてください。

検死について

検死官は、すべての不慮の突然死に対して、その原因や状況を確認するために調査します。検死官は、小児専門の病理学者が検死を行うことができるように、赤ちゃんを霊安室に連れて行く手配をするでしょう。その場合、可能な施設を備えた隣の市のこども専門病院まで移動することになるかもしれません。検死官は、これらについて親の承諾を取る義務はありませんが、あなたにそのプロセスを説明します。

ご家族の多くは、赤ちゃんと離れることを、非常に難しいと感じますが、赤ちゃんは、専門の小児病理学者から、丁寧なケアを受けます。検死は、ご遺体の外側と内側を、注意深く調べます。なぜ赤ちゃんが亡くなったのかを発見するためです。約半数の症例で、検死・剖検中に死因が見つかります。

例え今の時点で死因が見つからないとしても、将来医学研究が進んだ時に、例え少量でも保存されていた組織を調べることで、いずれ答えが得られるかもしれません。

検死の結果次第で、検死官は、死因審問が必要かどうかを決定します。

あなたか、あなたの代理の医師が、病理学者の剖検報告書の写しを検死官に請求する権利があります。報告書は、小児科医に頼んで、一緒に読み進めてください。あなた自身のために報告書の写しを請求することもできますが、別途料金がかかります。

検死・剖検が終わると、赤ちゃんのお葬式の手配をすることができます。ただ、剖検の詳細な結果が分かるまでには、5, 6週間かかるかもしれません。埋葬、火葬のどちらにするかを尋ねられるでしょう。正しい書類が用意するためです。

この段階でまだはっきり分からないときは、後で葬儀ディレクターにどちらにするか伝えることができます。

組織の保存

検死・剖検の一環として、病理学者は、小さな組織のサンプルを、スライド標本にするために採取するでしょう。これらの組織は、検査のためにしばらくの間保管されなければならないでしょう。

検死・剖検が完了すると、それらの標本をどうしたいか聞かれます。

それには3つの選択肢があります。

- ・将来の検査や研究の使用のために組織を保存する
- ・病院側で丁寧に破棄してもらう
- ・あなたに返却する。

ご両親の中には、赤ちゃんの組織が研究の役に立つであろうことや、将来の医学の進歩により、もっと答えが得られるかもしれない、ということに、非常に慰めを感じられる方もいらっしゃるかもしれません。なので、それらの選択肢のことを、注意深く確実に説明してもらうようにしてください。

さらなる検査のために臓器全体を保管することは、大変まれですが、その場合には、あなたに対して説明がなされます。

検死後の赤ちゃんのケア

あなたは家や病院で、赤ちゃんが霊安室に連れて行かれるまで赤ちゃんを抱っこすることができていたと思います。

検死後、そして死亡確認書が発行されたら、葬儀までの間に、どこでどのように赤ちゃんのケアをするか選択することになるでしょう。

多くのご家族は、病院や葬儀場で赤ちゃんに会うことを選びます。

葬儀までの数時間から数日間を、家で赤ちゃんとお過ごしされる方もいらっしゃいます。見慣れた愛情のこもった環境で、赤ちゃんとお別れができるのは、ご家族の助けになる機会かもしれません。

あなたが何かを信仰していれば、その代表者を招いて、祈りや加護を授けることもできます。

赤ちゃんの容貌の変化や、目に見える剖検の跡など、どんなことでも、医療者や葬儀屋に質問してください。（通常は、赤ちゃんの服を脱がせない限り分かりません）

自然な死後の変化のために、触れたり抱っこしたときに、赤ちゃんの感触が違って感じられるかもしれません。前もって何が起きるか知っていることは助けになるので、もし必要であれば、他のお子さん達に、赤ちゃんの見た目や雰囲気はどうなっているか、話してあげてください。

赤ちゃんの死亡登録をする

もし死因審問が必要なければ、検死官は赤ちゃんの死因を記載したピンク色の用紙を地域の戸籍係に送ります。

その後、あなたは正式に、死亡登録することができます。法的には、5日以内に済ませなければなりません。（ある一定の状況下では延長することもできます）

検死官の職員か別の役人が、いつ、どこで登録するかをアドバイスするでしょう。
その際、赤ちゃんの出生証明を持参してください。もし出生登録をしていなかった場合は、登録が必要です。

戸籍係は、あなたに以下のものをお渡しします。

- ・死亡確認書一通（余分に購入する際には、わずかな手数料がかかります）
- ・埋葬か火葬の実施に際に必要な、緑色の用紙
- ・葬儀費用を申請する場合には、雇用年金局へ提出するための証明書

葬儀の手配

どのように、赤ちゃんの命に敬意を払うかは、あなたとご家族次第です。
以下のようなサービスを考慮されるかもしれません。

- ・あなた自身の教会での葬儀と、地元の墓地での埋葬
- ・あなた自身の教会か、火葬場での葬儀と、地元の火葬場での火葬
- ・宗教色のない葬式。これはあなたやご家族友人、または英国ヒューマニスト協会のような組織によって手配することができます。
- ・ご自宅での葬儀。宗教いかにかわらず。
- ・葬儀のあとしばらくしてからの、感謝をささげる儀式

費用

費用は様々ですので、手配を完了する前に見積もりを求めてください。葬儀社の中には赤ちゃんの葬儀を無料で執り行うところもあります。（これは搬送やお棺などの基本的な費用をカバーするものです）

低所得の場合は、ソーシャルファンドの葬祭扶助を受けることができるかもしれません。より詳しい情報は、こちらへ www.gov.uk/funeral-payments もしくは葬儀社さんと話してみてください。

葬儀社選び

共感する心をもった葬儀社と共に葬儀の準備をすることは大きな助けになることがあります。どの葬儀社を選んでもよいのです。それは必ずしも葬儀場へとあなたのお子さんを搬送してくれる人でなくてもよいのです。

あなたの信仰を代表する人のアドバイスや、他の情報に通じた人も助けしてくれるかもしれません。宗教色のない形を選択することも希望しても構いません。「イギリス葬祭協会」0845-230-1343に連絡をとることで、あなたのお住いの地域で葬儀社を見つけることもできます。

埋葬または火葬による儀式

あなたの信仰を代表者や葬儀社は埋葬にするか火葬にするかについて決めるのに力になってくれるでしょう。埋葬または火葬の土地の所有に関する権利や、プレート、墓石といったどんな形のメモリアルが認められるのか、またコストについても相談することができます。家族、友人たち、葬儀を手伝ってくれる人たちと一緒に、歌や賛美歌、音楽、文学作品や詩などの朗読をどうするかについても相談することができます。こうした決めなければいけないことには戸惑うかもしれませんので、自分自身に納得のいく選択をできるように、しっかり時間をとってください。

お遺灰について

火葬を選んだ場合、すべての場合ではありませんが、火葬後に、火葬場からお遺灰をもらうことが可能な場合があります。

もし必要なら、他の火葬場が可能かどうかも含めて詳細を尋ねることや、前もって相談することをおすすめします。

お遺灰について下記のようなことが選べます

- 火葬場の追悼ガーデンに安置する
- 他の火葬場や、土地の所有者の許可のもとお気に入りの場所に安置する
- 地元の教会の墓地、一般の墓地、または他に意味のある場所に埋める
- あなたの選択で特別な場所にまく
- 火葬と同じ日にお遺灰の引き渡しを望むのであれば、午前にお遺灰が行われた場合は可能なことがある。おうちにお遺灰をとっておく選択をする家族もいる。重ねてお伝えしますが、これはとても難しい選択なので、決めるのに十分必要な時間をとってください。

遺された子どもたち

遺された兄弟、姉妹にとって、彼らがどんなに幼くても、葬儀の場を共にし、さよならを言うようにして、葬儀に関わることは助けになるかもしれません。

葬儀の際し、子どもたちのケアをあなたの家族の一員や友人にお願いすることもあるでしょう。通常、子どもたちに何が起きているのか、わかりやすく、率直な説明を行うことがなによりです。

また学校にも葬儀と、兄弟姉妹の赤ちゃんが亡くなったことについて知らせることは大切です。そうすることで、学校も彼らを支え、心理的に、行動的に変化があるかどうか確認することができます。

追悼

多くの礼拝の場や、一部の病院で、あなたが望めば、赤ちゃんの名前を刻むことができる“Book of Remembrance” (追悼ブック)があります。

墓石やメモリアル・プレートを希望しているのであれば、葬儀社にアドバイスを求め、見積もりをとってみましょう。

墓地で認められている墓石の種類に関しては規制があります。

木を植えたり、あなたの赤ちゃんを永続的に追悼できる何らかの形を望んだりするかもしれませんが。引っ越しをする時に、持っていけるように、大きな鉢に植えることを考えてもよいでしょう。

あなたと家族が、あかちゃんの生きた記念を残すのに役立つ物を入れておける、オリジナルの宝物箱や、思い出帳などを求めるのもよいでしょう。

他にもお子さんがいる場合、家族全員の写真を取り出して、額に入れることで、毎日目にすることのできる特別なものとなるかもしれません。

また、ララバイトラストのウェブサイトにああなたの赤ちゃんの追悼を載せたいかもしれません。詩や、写真、ほんのわずかな言葉でもあなたの赤ちゃんについて残せます。それは他の親御さんや、ウェブサイトに訪れた人たちも目にすることができます。

死因審問

死因審問というのは誰が、いつ、どこで亡くなったのか、死の原因を確定させるために行う調査のことです。

死因審問は医療的な調査であり、罪や責任を追求するために行ったり、死に関係した人の行動について言及したりするものではありません。

ほとんどの幼児の死亡は死因審問が行われます。

解剖を経ても医学的、また他に説明が見つからない場合は、コロナーが乳幼児突然死症候群 (SIDS) または、SUDI (乳幼児の予期せぬ突然の死) として認めるでしょう。多くの親御さんから、死因審問によって赤ちゃんが亡くなった「適切な理由」が説明されればと望んでも、そうはいかないことも多く、そうした結果にがっかりしていると聞いています。

コロナーが死因審問を実施することを決めたら、日にちと時間、場所が伝えられます。

しばしば死因審問は時間がかかることがあるため、コロナーは死因審問が完了する前に埋葬や火葬の許可を出す指令を出すかもしれません。

死因審問は公開されているので、あなたを支えてもらうのに友人や家族についてきてもらうのもよいでしょう。

ときにはメディアが死因審問に現れることもあり、ショックを受けるかもしれません。あなたはメディアに話す必要はありません。目撃者として呼ばれない限り、参加する必要もありません。

死因審問では質問もできます。行く前に質問を書き留めておくともよいでしょう。

警察官や小児科医、病理学者や保健師が出席することもあります。

コロナーズ・コート支援サービス（CCSS）と話すことで役立つことがあるかもしれません

CCSSは登録チャリティで、トレーニングを積んだボランティアが死因審問に参加する遺族や証人の心理面や現実的なサポートを提供してくれます。

CCSSは手続きが始まる前に、あなたを裁判所へ連れていき、死因審問がどのように実施されるかについて説明をすることができます。サービスのあるコロナー裁判所がどれかは下記サイトを尋ねてみて下さい。

www.coronerscourtsupportservice.org.uk

または電話をこちらまで。 [0207 802 4763](tel:02078024763).

子どもの死亡事例検証

今ではすべての子どもの死は有識者によるパネルレビューをつうじて検証されます。将来の死を防ぐことと、サポートを向上させるためにすべての子どもの死について調べます。どんなプロセスかについては、専門家によってあなたに説明がなされるべきです。ただ、もし疑問があればいつでもお電話ください。

ヘルプライン： 0808 802 6868

月曜～金曜 午前10時～午後5時

土曜&日曜 午後6時～午後10時

経済的な準備

こうした困難な時期でも、あいにく、取り掛からなければいけない経済的な問題があります。葬儀のあとに時間がとれるようであれば、それから集中しておこなうのもよいと思います。もしかしたら友人や家族の誰かに助けを求めてもよいかもしれません。

ここに知っておいたほうがよいことをいくつか挙げておきます。

- あなたのお子さんの死について児童手当のオフィスに連絡をする必要があります。

08453 021 444まで、児童手当ヘルプラインに電話をすることもできます。

児童手当でオフィスは英国歳入税関庁の他の部署に知らせてくれるので、英国歳入税関庁に一度連絡するだけで大丈夫です。お子さんが亡くなってから8週間は児童手当の権利があります。児童手当の申請前にお子さんが亡くなった場合でも、申請することができます。

- 被雇用者である場合、法定上の産休の権利はあり、その分の給与も支払われます。一部は支給されないかもしれないけれど、あなたのお子さんが生まれてから一年間は復帰する必要はないかもしれません。たとえ、お子さんが亡くなっていても、あなたの雇用者から別に出産給付をもらうことがあるかもしれません。

- あなたのお子さん用に信託資金の口座を開設していたら、解約する必要があるでしょう。あなたのお子さんの名義の保険証券も取り消す必要があります。あなたの地域の銀行や、保険会社に連絡をとってみてください。またこちらをご覧ください。

- 無料歯科や、処方箋とって、あなたがまだなお権利のある様々な給付に関しては保健師さんとお話してみてください。

その他考慮すべきこと

赤ちゃんが亡くなったとき、授乳していたのであれば、保健師またはかかりつけ医に母乳をどうするか相談してみてください。

スーパーマーケット赤ちゃんクラブや、オンラインクラブなど、あなたがなんらかの赤ちゃんグループに参加していたのであれば、もう参加を希望していないことを伝得る必要があるでしょう。

グリーフの中で

私達は、愛する誰かが亡くなったとき、圧倒されるような喪失とかなしみの感情を経験します、それを私たちはグリーフと呼んでいます。子どもが亡くなったとき、それは特に衝撃が大きなことであり、また、人が経験しうる限り最も痛みの大きな経験であるともよく言われます。

その喪失が突然であるということから、衝撃による計り知れない影響とトラウマを経験するかもしれません。そのような要素のすべては完璧に圧倒されるような気持ちになり得ますし、孤立感や喪失感もまた感じるでしょう。あなたの思考や感情がどんなものであれ、グリーフは深い意味で個人的な経験であり、設定された時間やプロセスはありません。

乱気流のような時になり得るでしょう、しかしながら静寂の期間もあるでしょう。薄れていくように見えた激しい感情が舞い持ってくることもあり得ます。そこには困惑がともない、決断をすることや、ちょっとした時間でも集中することが難しくなったりもします。たとえ眠れていたとしても、それでも疲労感を感じるかもしれません。グリーフの中にある人たちはおかしくなってしまうのではないかという恐怖感をもつこともあるでしょう。多くの親たちが、彼ら彼女らのお子さんのことはいつも頭にあって、腕の痛みを経験したり、お子さんの泣き声が聞こえたりすると言います。中には日々子育てでしていたことを続ける必要があると強く思う人もいます。

親御さんは頻繁に、彼ら彼女らがしたことまたはしなかったことの全てを何度も思い返し、それがその死を引き起こしたのではないかと心配になったりします。時には自分自身を責めたり、お互いを責めたりすることもありますし、医者や、保健師や、最近子どもに会った人の誰にでも怒りを感じたりします。そのような罪悪感や他責感の感情は当たり前のもので、実質的に普遍的なものであって、時間と共に薄れていくものです。

怒り、ほぼいつでも体験するものは、多くの親が助けになると思った様々な方法で表に表現することができます、例えば、泣くこと、屋外のオープンな場所で叫ぶこと、ウォーキング、ランニング、ジョギングといった運動をするといったことです。宗教上の信念に疑問を持つこともあるかもしれませんが、なんらかのさらなる悲劇が起こるのを恐れることもあるかもしれません。ふとした時に自死の念が浮かぶことがあるかもしれません、そんな時は、The Lullaby Trustへ連絡したいと思えば、あなたがどんな気持ちかを全て話していただけますし、あなたの地域の医療従事者またはその他の信頼できるサポーターたちと繋がりを持ち続けることができます。

ヘルプライン： 0808 802 6868
月曜～金曜 午前10時～午後5時
土曜&日曜 午後6時～午後10時

もしあなたが自分自身を傷つけてしまいそうだと感じるような危機にあるようでしたら、the Samaritans 08457 90 90 90に電話をすることを考えてみてください。

共通する感情

自身のお子さんを亡くす経験をした親のほとんどがそれまで経験した痛みの中で一番激しいものだったと表現します。果たしてその痛みを克服し、生き抜いて、そして人生に意味があるとまた感じるができるのだろうか、想像を巡らせるかもしれません。

お子さんが亡くなってからの初めの数週間は、霧の中で動いているように感じるかもしれません。一部には、葬儀の体験を、傍観者のような、もしくは感情的にはそこに参加していないような感じがしたと表現する親もいます。そのような反応は、子どもの死の後のごく初めの時期を乗り切れるように手助けをする自然な方法なのです。

あるお母さんはどのくらいの孤立感を感じたかをこう表現しました。

「葬儀の後、みんな家に帰ると、ある意味正常の状態に戻らなければならない。でもたくさん夜の夜を、ただ自分が辛いからって繰り返し人に迷惑をかけちゃいけないって感じたりしながら、孤独なグリーフの中で過ごすことがあるの。」

The Lullaby Trustに手紙をくれたお父さんは息子さんの葬儀の後の気持ちをこう表現しました。

「葬儀の後、私の一部分は前へ進むなんてできないと感じていました。残りの自分は、正常な状態を探し求めていました、痛みを防ぎ止めるために日常のルーティンや何も考えずにやるようなことをやりながら、何が起こったのかを考えないように避けていました。1週間後に仕事に復帰しましたが、とにかく集中することができませんでした。一点を見つめることができなかったのです。」

誕生日、休日、そして命日が激しい痛みと苦しみの時期をもたらすきっかけになることがあります。それらはすべて正常な反応です。あなたとあなたのパートナーは違った形でグリーフを体験するでしょう、そして気持ちを共有するときに難しさがあるかもしれません。カップルの一部であるのにも関わらず孤立感を感じたりするかもしれません。片方の人がお子さんについてなるべく多く話したいと思ってももう片方の方はそうではなく、お子さんの名前が口にされるのすら聞きたくないと思っていることがあるかもしれません。

あるお母さんがThe Lullaby Trustに語ってくれました。

「クリスは話すことをしなかった、それが彼なりの対処の仕方だったの、それでも私はジャックのことを話したかった、人々の口から彼の名前が語られ続けられるように。夜に私は目が覚めたまま横になっていると、彼はそこで、すべての不安や心配を忘れて眠っている。ジャックを失ったことは私たちの関係にとっても大きな歪みをもたらしたけれど、最後には私たちを完全に繋ぎ合わせるようになったの、今では、私達を引き離すには原子爆弾が必要なくらいよ」

あるお父さんは言いました。

「私達はそれぞれ違った方法でなんとかしようとしていたんだ。妻はグリーフの中であって、自分はそうではなかった。自分自身が自分の気持ちとの折り合いをつけていこうと試みている最中でありながら妻と子供たちを支えるという重責によって、私はいっぱいいっぱいになり始めてしまったんだ」

友人や親戚が両親のそれぞれに対して違った態度を示すことがよくあります。父親は人から「奥さんはどんなご様子ですか？」と聞かれることが多く、人々は「あなたはどんな様子ですか？」と尋ねることを忘れてしまいがちです。

The Lullaby Trustに語ってくれた別のお父さんによれば。

「私の妻は愛する人を亡くした人、として扱われていた。私は私が責任を持った人を亡くした人、として扱われていたんだ。私は“僕だって彼を愛していたんだよ！わかるだろう！”と叫びたかった。

父親は過去を振り返らないようにさせること、そして未来のほうを向けさせようとするのが自分の役割だと感じることもあるかもしれません。男性は助けの手を拒絶することがよくあります、もしくはそれが助けになることであってもサポートを求めずにいることもあるかもしれません。

親同士の関係性が更に身体の接触に影響することもあります、片方の人には接触が癒しや慰めに必要だと感じていても、もう片方的人是それを求めている場合です。性交をすることについてや、もう一人子どもを持つことに対して違った気持ちを持っているかもしれません。

それぞれの反応の原因を誤解する可能性があります（時にはパートナーの片方が、もう片方の人のグリーフの表現では自分たちの子どもへの愛は自分が思うほど強くなかったということになってしまうでは、と感じます）。ですから、あなたのニーズと気持ちについて、心を開き、正直に伝え、お互いの反応を受け止めることが有効です。

時間が経てば、お互いの異なる方法を尊重し合えるカップルは、より気を楽しにして、話し合い、共有し合い、支え合おうとすることができるのに気付くでしょう。

もしあなたが一人だったら

親御さんにとって赤ちゃんの突然の言うのはとりわけ難しいものになるかもしれません。

あるお母さんから私達が聞いたのは

「愛する赤ちゃんが亡くなったことを共有する相手がいない時にグリーフがもたらす孤独感というのは表現し難いものがあります。あなたが周りの人たちを遮断し、あなた自身が暗闇の世界へと駆り立てられるように思われるかもしれません。ただ求めているのは、眠れない夜を慰めてくれる相手、抱きしめてくれる相手、涙をぬぐってくれたり、思い出を共有してくれたりする相手なのです」

もしあなたが一人だったら、夫婦が受け取っているような共感を得られないように感じるかもしれません。子供を1人で育てるのは大変なことなので、あなたの赤ちゃんの死は、不幸に見えて実は感謝することだと言う人もいるかもしれません。

あるお母さんがこう言っていました。

私の両親は生活の中で赤ちゃんの存在を大きな問題だと見ていました。彼が死んだとき、両親は「結果としてはこれで一番良かったんだ」と言いました。彼らはこれが解決策だったんだと感じていました。

多くの両親は彼らの両親を必要に応じて頼ることができます。しかし、支えてくれる家族がいないこともあります。

ララバイ・トラストにはビフレンダープログラムがあり、あなたの助けとなるかもしれません。それによってあなたが抱えている考えや思いについて語り合うことのできる、他のご遺族（親御さん）たちとつながることができます。ビフレンダーに直接話をするのに、ララバイ・トラストまでお電話ください。

ヘルプライン: 0808 802 6868 月～金 10時～17時 土 18時～22時

この電話相談はあなたが赤ちゃんを亡くした直後に役立つかもしれませんし何ヶ月ももしくは何年も後に役立つことがあるかもしれません。もし話す気になれないのであれば、日記をつけたり手紙を書いたりすることも助けになるかもしれません。あるお母さんはこう言っていました。

「マイケルにいつも手紙を書いていた もう今では手紙を書いていないけれどその書いた手紙は今でも持っていますそして時々読み直すのです」

たとえあなたが一人でいるわけでもなく、亡くなったお子さんに手紙を書いたりすることは支えになるかもしれません。

もし双子の一人が亡くなったら

もしあなたのお子さんが双子だったら亡くなったお母さんのことを適切に思い嘆くことはできないかもしれません。日々のルーティンの断続的なケアやあなたの愛情を必要とする生き残った赤ちゃんがいるからですそしてそのことはあなたが自分自身の感情を置き去りにすることにも繋がるかもしれません。生きている赤ちゃんを見ると、本当は二人だったのにということを思い返し、複雑な感情を抱くかもしれません。双子の両方の赤ちゃんが亡くなることは、めったにないことなのだけれども、お医者さんや病院はあなたの生き残った赤ちゃんが検査のために入院することを勧めてくるかもしれません。さらなるサポートや、安心を得られる、地域のCONIのスキームに参加することについて、助産師や保健師や小児科医と相談をしたいかもしれません。双子の片割れが亡くなった時誕生日のような記念日はとりわけ心が痛む時期になるかもしれません。生きている子供が成長するとともに、子供たちが双子のお兄さんやお姉さんがいたことを知っていることが大切です。あなたの思い出写真を共有することが助けになるかもしれません。

仕事に復帰する

あなたが雇用されているのなら仕事に復帰することはとても困難な時期となるでしょう。同僚たちの多くは、あなたの赤ちゃんの亡くなったことについてや、あなたが感じていることについて、何とすべきなのか、何を言わぬべきなのかということがわからないでいるでしょう。気にはかけているのだけれども共感を示すことが難しいと感じている人も多くいます。

ある親御さんはこう言っていました。

「仕事に復帰することは大変なことでした。突然涙が出てきて動揺するんじゃないかととても恐れていました。他のみんなも私を恐れていました何と云ってよいか何をしたらよいかかわからなかったからです。」

多くの親御さん、とりわけお母さん方は子どもが亡くなった時は働いていないことがあります。親御さんが食を離れたり産休や育休をとると決めていた場合は職場復帰する時に状況が変わったことを説明するのを難しく思うかもしれません。仕事復帰する前に、何が起きたのか雇い主からあなたの同僚に伝えてくれるよう頼むのも役立つかもしれません。

赤ちゃんが亡くなった後の人生

親御さんたちが将来に対して抱いていた夢や希望というものはお子さんの死によって変わらざるを得ません。

あるお父さんは言っていました。

「子供と一緒にできたことがあるのと同じぐらい、できなかったこともあるので私は息子を思って寂しく感じています。」

「ここ最近で最も衝撃的だったことは、根本的に、パトリックの子が私たちを変えたこと、また変え続けているということです。彼の人生はたった5ヶ月でしたが、他に一体誰が私たちの人生にそのような深い印象を与えることができるでしょうか」

人によってはある時点でそれを終わらせるべきだと言うかもしれません。それは子どもを亡くした親にとって意味のない考えです。なので、あなたが前向きに歩いていくことを他人にすすめさせないでください。

友人や親族たちからのサポートがあれば、またララバイ・トラストのビフレンダーやアドバイザーと相談することで、どんなふうに対処したり歩みを進めていくのかについて、あなたは決断ができるでしょう。あなたのグリーフを麻痺させるために、アルコールや薬またドラッグなどを乱用したくなったり、気分が落ち込んでいたりするときには、誰かと話し合うのも良い考えです。

そこまで深い死別経験はあなたの中の優先順位や、人生に対する見方を全く違ったものにすることもあります。

あるお母さんはこんな風に言っていました。

「グリーフが私にとって役立ったのは、私を賢くし、未来をより明るいものにしました。何がやってきたとしても、なんでも対処ができることがわかります。これ以上悪いことは起こりようがないということ。私は胸に息子をいつも抱いています。そんな天使が私の人生を共有してくれることを嬉しく思っています」

赤ちゃんの兄弟・姉妹

赤ちゃんが亡くなったことが他の子どもたちにどう影響するのか心配するということは親御さんたちの間では自然なことです。亡くなったことについて話し合ったり、説明したりするというのをとてもむずかしいこととして気になっているかもしれません。

大切なことは、正直に子どもたちに何があったのか伝えることと、子どもたちの疑問には包み隠さず答えることです。

良かれと思って、親切心から子どもたちに伝えられる言葉は異なった意図が伝わってしまうことがあるので、控えましょう。例えば下記のようなものが挙げられます。

- ・「眠りについたのよ」

子どもたちに、自分たち自身も起きられなくなるのではないかと不安になり、眠りにつくと怖くになります。

- ・「私たちはあなたの兄弟（姉妹）を失ったのよ」

子どもたちに対して、失ったおもちゃを探すかのように、再び見つけるつもりで探させたままにしまいます。

- ・「お医者さんがあの子を連れ去ったのよ」

子どもたちにとっては医者にかかることが怖くなってしまいます。「天国にいつてしまった」または「神様のもとで生きている」という表現は幼い子どもにとって、安心できると思えるような宗教の信仰を家族内で共有していない限り、混乱の元になるかもしれません。

どの子どもも、その子なりのグリーフとの向き合い方があります。その子たちの個々の感情を表現できるよう応援してあげましょう。

あなたと同じように、答えのないようなことに疑問を抱くかもしれません。それでも、年齢に応じた言葉で可能な限り、誠実な説明が求められているでしょう。

何が起きたのかを知るのに幼すぎるということはありません。幼い子どもでわからなかったとしても、情報や、愛情、そしてサポートを必要としているのです。

子どもも、大人どうように、悲しみ、怒り、不信、時には罪悪感さえ、様々な感情に苦しんだりします。（例えば、よちよち歩きの子どものさえも、彼/彼女らの嫉妬心や、おもちゃ

を巡って喧嘩をしたことが死をもたらしたのではないかと心配することがあるというのは多くの親御さんには驚きのことだと思います)

赤ちゃんが亡くなったのは誰のせいでもないということを伝えて子どもたちを安心させてあげることが大切です。

きょうだいは、行動が幼児退行したり、依存的になったり、おしゃぶりやおもらしを再びするようになったり、頭痛、腹痛を訴えたりするかもしれません。

子どもたちは自分の感情について話したりしないかもしれません。むしろ押さえ込んだり、必要以上にいい子に振る舞おうとしたり、役立とうとさえるかもしれませんが、それによって大人たちは彼/彼女らが影響を受けていないと思ってしまうことがあります。本当は全く違うのです。

亡くなったあとの様々なことや、儀式にきょうだいたちも参加できるようにしてください。参加させないことは不安や戸惑いを感じさせたり、ひとりぼっちだという気持ちにさせてしまいます。

葬儀や追悼の儀式に子どもたちが出席、参加するためにどのように準備すべきか決めるに当たっては助けが必要かもしれません。

このことについて、ララバイ・トラストの電話相談アドバイザーに相談することもできます

電話相談: 0808 802 6868 月～金 10時～17時 土日 18時～22時

きょうだいへのサポートについてもっと知りたい場合は、子どもたちにグリーフサポートを提供している、Winston's Wish [08452 03 04 05](tel:08452030405) また Child Bereavement UK [014 4 568 00](tel:014456800) まで連絡してみてください。

子どもたちの助けになる方法

まとめ

- ・子どもたちには、偽りのない情報と、わかりやすい言葉で、率直に話して下さい。
- ・子どもたちが自分の感情について話したり表現をできるように、またあなた自身に対しても正直になれるように、力づけてあげてください。
- ・子どもたちの声を大切に聴き、彼/彼女らの考えを浅はかだと払い除けたり、伝えてくれた感情を否定したりしないでください。
- ・疑問に思うことをすすんで受け容れようとしてください。ストレートに傷つくような質問もあるかもしれませんが、それでも子どもが質問をしたのであれば、それは彼/彼女らが答えを知りたいからであり、対処することができるのです。
- ・繰り返し聞かれる質問は、辛抱強く耳を傾け、何度でも答える必要があります。（そして答は一貫している必要があります）。困っている、悩ましい状況を脱するために、複数の大人に対して、同じ質問を繰り返すかもしれません。
- ・本当のことであるのならば「わからない」ということも正しいことです。
- ・涙を流す時を共にしてください。なぜあなたが泣いているのかわかれば、子どもたちは驚いたりしません。そしてそうすることで子どもたちにも同じようにすることを認められます。
- ・子どもたちが怒っているときも、辛抱よくあってください。怒りもまた自然な反応です。
- ・写真をみたり、出来事を思い出すことで赤ちゃんの思い出を共有してください。メモリーブックやボックスにまとめることもできます。
- ・日々の決まったことはいつもどおり続けてください。就寝時間や、おはなしの時間、あそび時間、散歩や食事など。はじめは中々難しいかもしれませんが、子どもに関わるルーティンを可能な限り一貫して続けるために他の親戚や愛する、信頼のおける大人たちの助けを借りてください。

・子どもたちを、親戚や友人たちのところではなく、可能な限りお家にいられるようにしてあげてください。

・何が起きたかを学校の先生や遊びのグループリーダーの人に話して下さい。学校や保育園など預けている先で、その人達がどんな風にその出来事を扱ったり、子どもをサポートするかについて話し合ってください。

子どもたちにとって、感情を表現することは大切です。もしとても幼い場合、おもちゃや遊びを通じて、表現するとよいでしょう。あなたを困らせたり、戸惑わせたりするような子どもの反応があったら、家庭医や保健師、もしくはララバイ・トラストの電話相談アドバイザーにそのことについて、相談を求めるのも一つです。

ララバイ・トラスト 電話相談: 0808 802 6868 月～金 10時～17時 土日 18時～22時

Winston's Wish 08452 03 04 05

祖父母や他の家族について

お子さんの死は家族の全員に影響します。

ある祖父母の方は、赤ちゃんが亡くなったグリーフと、自分の息子、または娘のグリーフ、二重の痛みを感じると私たちに話してくれました。

邪魔をせずに力になる方法を見出すのに苦労します。そして、しばしば、自分自身のグリーフを表現する権利がないように感じます。かわりに遺された孫のサポートに集中します。

家族のメンバー全員がその死について怒りを感じている場合は、最も身近な人に怒りを向けることがしばしばあります。そして簡単に誤解されてしまいます。

育児の方法が世代間で異なることでの緊張や、もっと年配の健康な（病気を抱えていたとしても）他の親族が生きていることの不正さについて口に出すことが、激した時に、大きな傷つきを生み出します。

孫から遠く離れて暮らしていたとしても、とても深い喪失感を抱くことがあります。そのお子さんが亡くなる前に、会うことも抱くこともできなかったでしょう。

関係性が姪御さんや甥御さんだった場合、他の親族にとってもこうした考慮すべきことはあてはまります。喪失感が自分たちの子どもや、これから生まれてくる子どものことで、恐れを感じて複雑なものになるかもしれません。突然すべてのことが不確かなように思われるのです。

ある叔母さんが私たちに話してくれたのは

「私自身の子どもにだって同様に起きたかもしれない。それがどんなものになったのかは想像はできないけれど」

こうした恐怖に加えて、あなたが妊娠していたり、小さなお子さんがいたりする場合、自分の子どもに会うことについて、亡くなった赤ちゃんの親御さんがどう思うのか気になるでしょう。

ある親戚の人が手紙で私たちに伝えてくれたのは

「私が間違ったことを言ってしまうのが不安でした。過ぎていく年月と共に和らいでいくこともできる苦しい思い出を、刺激してしまうのではないかと気になっていました。できることも言えることもほとんどないように思われて、無力感でいっぱいでした」

家族がどう力になってよいかいつも自信が感じられているわけではない一方で、ご遺族は彼／彼女らの貴重なサポートについてしばしば触れることがあります。

他の子どもたち、また日々の活動や現実的なことについて力になることはほぼいつでも歓迎されています。そばにいて話を聴いてくれる家族がいることに感謝をしている親御さんも多くいます。

ララバイ・トラストの電話相談は突然の、思いがけない赤ちゃんの死によって影響を受けた家族のみなさんのためにあります。

ララバイ・トラスト 電話相談: 0808 802 6868 月～金 10時～17時 土日 18時～22時

死別を経験した多くの祖父母のみなさんがビフレンダーとしてお孫さんを亡くされた方々をサポートしています。

お世話をしていた赤ちゃんが亡くなった場合

あなたの保育園であろうと、里親であろうと、また親御さんのおうちで赤ちゃんの面倒を見ていたときであろうと、誰かの赤ちゃんが亡くなったとしたら、それはとてもショックなことです。

あなたはその危機に対応しなければいけない人物だったでしょうし、ひょっとしたら、蘇生を試みたり、救急サービスに連絡をとったりしたかもしれません。

あなたが保育園で働いていたとしたら、同時に他のスタッフや子どもたちを落ち着かせなければいけなかったでしょう。

あなたは警察から事情聴取をされたでしょう。あなたは専門家として問題にされているかのように感じているかもしれません。

赤ちゃんの親御さんが到着したとき状況はさらに難しいものだったかもしれません。警察からなお事情聴取を受けていた時であれば、親御さんたちに正しく話すことができなかったでしょう。

ご家族の中には、初期の段階で、警察や救急サービスが、赤ちゃんの親御さんよりも、現場にいたケアの担い手に対して尋ねているので、疎外されている感じがしたと言っていた方もおられます。

ケアの担い手は、ララバイ・トラストのことを紹介をしたかったし、親御さんに話しかけたかったと私たちに伝えてくれていましたが、そうしたことは認められていませんでした。

赤ちゃんの死について責められていたとしたら、親御さんに話しかけたことはトラウマを残すことになっているかもしれません。

精神的にきつい一方で、ショックをうけたグリーフの只中にある親御さんは、子どもの死について理由を見つけようとするので、そうした反応は自然なものでもあります。

あなたは自分の保育のルーティンについて振り返ったでしょうし、その赤ちゃんが良いケアを受けていたか確認したことでしょう。

乳幼児の突然死の原因は正確には知られていませんが、あなたはその死が防げたものだったのではないかと困惑しているかもしれません。

なにも悪いことをしてはいないと確信をもっていたとしても、またいつもと何ら変わらぬ行動をとったはずだったとしても、強い罪悪感を抱くことがあります。

あなたのケアのもとで、誰かが亡くなった時、そしてその子どものことをとても好きだった時に、ケアに携わった者がその後の手続きに関与することはめったにありません。またそのことが多くの人々にとってはその死と折り合いをつけるのに助けとなります。

あなたは家族と共に悲しんだり、葬儀に参列したり、赤ちゃんにさようならを言う機会が得られないかもしれません。

あなたの赤ちゃんでなかったとしても、ショックやグリーフを経験することは十分あり得ます。

ある保育園のオーナーが私たちに言葉にしてくれました。

「なぜ自分の子どもではないのに、悲しんでいるのだろうか」と尋ねる人は多いです。こうした発言は非常に痛ましいものであったし、今もなおそうです。同様の経験をした人に話せたりはしなかったのも、とても孤立していました。私が10年前に感じた傷つきと孤立感には誰にも感じてもらいたくありません。誰かわかってくれる人に話す必要があります」

赤ちゃんの死は親御さんとケアの担い手との関係を変えるかもしれません。強い友情が育まれる場合もあれば、その人にもう二度と会いたくないということもあります。

あるお母さんはこんな風に伝えてくれました。

「もう6年になるけれど、保育士さんの道を車で通り過ぎることが今もなおできないんです。彼の死について彼女を責めてはいないけれど、あの日に何があったのか話すために彼女と会うことはできませんでした」

あなたがナニーであるなら、お世話をしていた赤ちゃんの死は、仕事、時にはおうちや友だちのつながりさえを失うことを意味している。

あなたが自分のグリーフを経験し、ご遺族の行動を受け容れようとしている間、理解のある人に話をするには役立つかもしれません。

ララバイ・トラストの電話相談にサポートを求めてお電話いただくこともできます。

ララバイ・トラスト 電話相談: 0808 802 6868 月～金 10時～17時 土日 18時～22時

サポートを見つける

あなたの赤ちゃんが亡くなった悲劇について話をするには大きな助けとなります。すぐに安心を求めて親しい親族や友人たちに頼る人は多いです。またGP（かかりつけ医）や保健師、あなたの赤ちゃんを知っている助産師さんに話をすることもできます。身体的な症状が出ていたり、気分がかなり沈んでいたりする状態なのであれば、ぜひそうしてください。

赤ちゃんが亡くなったときに、あなたの感情に全く誰も助けになってくれなかったと感じているかもしれませんが、心理面のサポートは短期的には、進み続けるのを助けてくれるでしょう。

ララバイ・トラストが助けになれること

ララバイ・トラストはご遺族に、ケアの担い手に、ご遺族と関わる専門家、赤ちゃんの死に影響を受けたり、関連のする人ならどなたに対しても、電話相談を提供しています。特別なトレーニングを受けたアドバイザーのスタッフがいて、あなたの電話には直接応答します。あなたが伝えてくれた内容については外部に漏らすことはありません。

ララバイ・トラスト 電話相談: 0808 802 6868 月～金 10時～17時 土日 18時～22時

ビフレンダー

ララバイ・トラストの電話相談アドバイザーは、似たような状況で赤ちゃんを亡くした経験のある親御さん（または祖父母、叔父叔母）とおつなぎすることもできます。

ビフレンダーの人たちは、サポートするために特別に準備をしてくれています。あなたが望めばあなたや、あなたのご家族と会うこともできるでしょう。あるいは、電話で話したり、メールでのやりとりを選ぶこともできます。

紹介

他にもアドバイスや支援をしてくれる団体があります。

ララバイ・トラストの電話相談にお電話ください。0808 802 6868

支えを届ける

何か声をかけることよりも、ただ傍にいたことのほうが大事なこともあります。

- ・動揺している遺族に、その人が感じていることならなんでも表現させてあげてください。たとえ、その感情が激しいものや、驚くようなものであったとしても。善い悪いを決めるような言葉はつかわないでください。
- ・亡くなったお子さんについて望むだけ、その両親が話しをできて、聴いてもらえる環境を整えましょう。そのことが親御さんにとっては助けとなります。
- ・赤ちゃんの特性について気兼ねなく話してください。話題を避けることのないように。
- ・赤ちゃんの名前を呼んでください。
- ・もし写真やスクラップブックが親御さんにとって慰めになるようなら、赤ちゃんの写真を一緒にみることをおすすめします。
- ・とりわけ、親御さんたちがあまりに困惑している場合、**give them comfort** 個々のニーズに応じるために、家族の中の他の子どもたちにも特別気にかけてあげてください。

電話や、買い物、料理、育児など現実的な問題の手助けを申し出てください。主導権を奪わないように気をつけてください。

- 明らかな要望がないのであれば、赤ちゃんの洋服やリネンを洗わないでください。赤ちゃんの匂いのまだあるものに大きな安心を感じる親御さんも多いのです。
- あなたが頼まれない限り、赤ちゃんの持ち物をしまいこんだりしないでください。後々、後悔につながることもあるので、決して片付けたり、棄てたりしないでください。心の準備ができたとき、それをすることが、折り合いをつける重要な一部となったときに、大体の親御さんはお子さんの持ち物を扱うでしょう。
- 決して悲しんでいる人にどうすべきとか、どう感じるべきかなどは言わないでください。全ての人が異なった反応をします。そしてその違いを受け容れることが大切なのです。
- 死別経験の中に何かポジティブなものを見出そうとしないでください。そうすることは、親御さんが後々に、自分自身で行いたいことかもしれないし、行いたくないことかもしれません。
- 親御さんたちが、ある特定の問題についてどう感じているか分からない場合、尋ねてみましょう。どう感じているのか、どんな考えをもっているのかについて、勝手に想定したり、推測するべきではありません。
- ララバイ・トラストのリーフレットをご遺族に届けることについて心配しないでください。ご両親は、また残りの家族は、リーフレットを読むことでいくらかの安心感を得ることができるでしょう。
- たとえ時々電話だけであっても、数ヶ月時が経つ中でつながり続けて下さい。ある一定期間が過ぎたら乗り越えるというわけではなく、家族や友人のサポートを必要とし続けます。
- 記念日や、伝統的な、特別な家族ですごす日は、とりわけしんどい時期となります。より支えることが力になるかもしれません。徐々に、年月が経っていけば、苦しみが減ってきたという親御さんもいます。
- あなたが支えていることがどれだけ価値があるかわからないかもしれませんが、支えることをやめないでください。

次の赤ちゃんをもうけることについて

また赤ちゃんをもうけることを決めるのはとても個人的なものです。あなたと伴侶の方の希望や時期について一致しないこともあるかもしれません。

お医者さんや小児科医に、将来の子どもについて相談をすることも助けになるかもしれません。

亡くなった息子さんや娘さんの代わりとなる赤ちゃんはいません。というのも一人ひとりが固有の性格をもった特別な存在だからです。

もう一人お子さんをもうけることが、様々な入り混じった感情と共に、不安に感じることもあると思います。例えば、幸せな気持ちと不安な気持ちが入り混じっていたり、あふれる愛と、愛しすぎる恐怖が入り混じっていたりすることがあります。

あるお母さんはララバイ・トラストに話してくれました。

「トムの死によって私達の夢は砕け散りました。赤ちゃんたちに触れるのが今でも怖いんです。そして新たな子どもを愛しすぎるのを恐れています」

あなたが新たなパートナーと歩んでいるのであれば、その人があなたの考えや、思いを理解するのが難しいと思うこともあります。赤ちゃんと親の間にある強い絆を経験したことがない場合にはとりわけです。

そうした感じていることについて正直に話すことや、はじめはある程度理解がなくても、辛抱強さを示そうとすることも助けになります。このリーフレットや乳幼児の突然死に関するその他の参考になる文献を新しいパートナーに見せたりすることも役立つでしょう。

次の赤ちゃんのケア

ララバイ・トラストには、また赤ちゃんをもうける時にご遺族へのサポートとして次の赤ちゃんケア（CONI）プログラムがあります。

症状日記をつかったり、大きさはかかったり、動きを観察したり、体温をはかったり、体重表をつけたり、保健師さんの定期的な訪問を通じて、親御さんがお子さんの成長を観察することができます。こうしたことは、心配を和らげるのに役立ちます。

CONIプラスは、乳幼児の突然死を経験したお子さんの拡大家族を対象として、他の理由で突然亡くなったお子さんの親御さん、またいのちの危険がある出来事で苦しんだお子さんの親御さんのためのものです。

多くの病院やコミュニティ保健センターを通じて手に入るスキームもあります。もっと情報をお求めのかたや、CONIやCONIプラスがあなたのお住いの地域にあるかどうか知りたい方は、ララバイ・トラストのヘルプラインまでご連絡下さい。

ヘルプライン：0808-802-6868 月～金 10時～17時

土日 18時～22時

CONI 本部：0114-276-6452（シェフィールド）

出版物

ララバイ・トラストは乳幼児の突然死やそれに関わる課題、研究について、情報が掲載されている数多くの出版物を出しています。

ご興味のある出版物をご要望の方は、ララバイ・トラストの事務所 020 7802 3200に電話をすることもできます。下記にある多くの出版物はウェブサイトから無料でダウンロードいただけます。お気軽にお訪ねください。www.lullabytrust.org.uk

・子どもの死亡事例検証

検死・剖検やコロナーの役割を含め、赤ちゃんの予期せぬ突然の死をとりまく、現実的な問題について保護者や養育者への案内を用意しています。

・死別と共に生きる、ウィンストンズ・ウィッシュ。

死別を経験した子どもと家族のための支援とガイドについてリーフレットがあります。

・CONI

医療者や、ご遺族にララバイトラストによる、次の赤ちゃんサポートプログラムの詳細に関して簡単な案内をご用意しています。

・ファンドレイジング（資金調達）

020-7802-3201にお電話いただくか、fundraising@lullabytrust.org.ukまでメールでご連絡いただき、ファンドレイジングセットのご希望を承ることもできます。

用語集

●コロナー

コロナーは医師または弁護士、または両方兼務していることもあります。コロナーはすべての突然死、予期せぬ死、不自然な死を調査するjudicial officerです。

●死因審問

誰がなくなったのか、状況を特定し、その死因が特定できるかどうかについて決定するための、コロナーによる正式な調査のことです。

●小児科医

子どもの治療にあたる専門医です。小児科医は通常主たるコンタクトになります。

●病理学者

検死を行う医師のことです。

●代謝障害

遺伝的条件が科学的、人間の身体に関する化学的、物理的な過程（代謝）に影響を及ぼすことがあります

グリーフサポートのために…

電話： 0808 802 6868

E mail : support@lullabytrust.org.uk

Visit: <https://www.lullabytrust.org.uk/>

ララバイ・トラストは 死別を経験したご家族へのサポート、赤ちゃんのための安全な睡眠についての専門家のアドバイスを提供しています。乳幼児突然死に関する啓発活動をしています。

The Lullaby Trust

住所 11 Belgrave Road, London. SW1V 1RB

このリーフレットはララバイ・トラストによって作成されました。リーフレットの情報は2013年に最後に更新されました。

チャリティ番号262101に登録。会社登録番号（会社法人番号）0100082.

旧称 The Foundation for the Study of Infant Deaths (FSID)

デザイン www.scissorspaperstonedesign.co.uk

イラスト： Jane Padginton